



CODE 新疆ウイグル地震 救援 NEWS

CODE(海外災害援助市民センター)
〒652-0801 神戸市兵庫区中道通 2-1-10
Tel: 078-578-7744 Fax: 078-576-3693
e-mail: info@code-jp.org
URL: http://www.code-jp.org/

〈第 1 報〉

■CODE・救援活動開始

2月24日午前10時3分(日本時間11時3分)に中国 新疆ウイグル自治区に発生した、マグニチュード6.8の新疆ウイグル地震に対して、被災地への救援活動を開始いたします。CODEとしては先ず情報収集、発信および募金活動を行います。

現在、地震発生の一報を受け、関係者に情報提供を呼びかけるとともに、中国のメディアからの情報収集を行っております。

なお、集められた募金は神戸華僑総会を通じて被災地へ届けられる予定です。

■新疆ウイグル地震発生

26日午後3時までの地震情報をお伝えいたします。

2月24日午前10時3分(日本時間11時3分)に中国 新疆ウイグル自治区でM6.8の地震が発生した。震源地はカシュガル市の東、約70kmの巴楚(バチュ)県と伽師(ジアシ)県間の砂漠地帯。この地震による死者266人、負傷者4000人(その内、重傷者600人)、倒壊家屋27243戸、倒壊したイスラム寺院33カ所、51109戸の家屋に倒壊などの危険がある。25日午前までに余震も730回を超え、最大でM5.1クラスもあった。この地震で巴楚県の被害が最も大きく、特に瓊庫尔恰克(チョンクルハク)村では死者247人となった。伽師県政府からの情報として、現在1人が負傷した。これらの地域では夜になると氷点下になり、二次災害が心配される。(新疆新聞網 25日版)

カシュガル地区の共産党委員会と行政府は地震発生後すぐに人を派遣し状況を把握、その地区に「地震対策救援指揮部」を発足させた。24日には1100名の人民解放軍の兵士、200名の武装警官と200名あまりの公安警官が救助活動に参加し、同時に12の医療チームを組織し、160人の医療関係者が救助と治療に向かった。現在、被災者への風邪の予防と治療薬はすでに24日夜緊急に配布され、25日午前からも各地からの救援物資が配布がはじまっている。被災地の問題はテントの不足である。3万人の人がテントに住むことを強いられている。民政部ではテント1張りに7人住む計算をし、被災地では最低5000張のテントが必要になるが、現有のテントでは少なく、地震発生から最初の夜はビニールを体に巻いて暖を採る人もいた。(新華網 25日版~この情報は中国の友人から寄せられたものです。)

* * * * *

■募金について

募金にご協力して頂ける方は、下記の郵便振替口座にて、通信欄に「ウイグル地震」と明記してください。なお募金全体の15%を上限として事務局運営・管理費に充当させていただきます。ご寄付を頂いた方のお名前は随時、同NEWSでご紹介させていただきます。

口座番号:00930-0-330579

加入者名:海外災害援助市民センター

*通信欄に「ウイグル地震」と明記してください

